

修正箇所リスト

発言者	修正後のページ	修正前	修正後
橋山委員	P7	「令和6年度以降はバス運転手の労務環境の改善が予定されており、運転士不足の長期的な改善が図られる一方、短期的には現在の運行本数の維持が困難となる懸念があります。」	「人口減少や若年層の運転免許保有率の低下と併せて、令和6年度には運輸業における運転手の時間外労働の上限規制が適用され、運転士不足が更に深刻化し、バスの運行本数維持等、現状の輸送体系でのサービス水準の維持は困難となる懸念があります。」
吉田委員	P13	「 <u>鉄道駅までの移動</u> で不満と 思う理由」という項目で「1.鉄道やバスが不便」というのはどうということか。	文章と図表を修正しました。
橋山委員	P19 (2)	「市内の主な公共交通は路線バス、コミュニティバスになりますが、いずれも新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が減少しており、運行経費に関する市負担率も高い状況です。」 市負担率が高いのはコミュニティバスなので明確に表現したほうがよい。	「市内の主な公共交通である路線バス、コミュニティバスは、いずれも新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が減少しており、コミュニティバスについては運行経費に関する市負担率も高い状況です。」
最上委員	P25	「マイカーに依存しない」と「マイカーに過度に依存しない」という表現が混在しているので「過度に」を入れるよう統一したほうがよい。	ご指摘のとおり修正しました。
吉田委員	P34	事業内容の「北茅ヶ崎駅のバリアフリー化に関する関係機関への要望」と「新駅（仮称：西久保新駅）の整備に関する関係機関との協議」の要望と協議と	ご指摘のとおり修正しました。

		<p>いう用語の使い方について、駅のバリアフリー化は事業者と行政が協調して行っていくという意味で協議、新駅については、進捗状況としては要望という表現のほうが近いと考える。</p>	
岡村会長	P34	<p>「北茅ヶ崎駅の交通結節機能の強化」は他の事業と比べると個別具体的内容になるため、他の事業に溶け込ませるなどしてもいいかもしれない。</p>	<p>事業1－6 鉄道駅の利便性向上のなかの取組のひとつとしました。</p>
内藤委員	P47	<p>おでかけワゴンは計画上どのような位置づけになるか。支援などは行っていくか。</p>	<p>「地域の交通手段確保の仕組み構築及び推進」の事業内容に、次のとおり追記しました。 「地域発意の道路運送法によらないボランティア輸送等、地域に応じた交通手段の導入にあたって、技術的な支援を行います。」</p>

その他

- ・ P5、P24 SDG s の達成目標を追加しました。
- ・ P23 基本理念案を更新しました。
- ・ P24 方針3 2 ポツ目表現を修正しました。
- ・ P35 事業内容に「市内主要バス停、タクシー乗降場でのバリアフリー化」を追記しました。
- ・ P36 事業に「車両のバリアフリー化」を追加しました。
- ・ P38 事業2－1 コミュニティバスの運行見直しに具体的な見直し基準を追記しました。